

東三河・豊橋で初めての挑戦 障がい者アートの発表の場となる 美術館をつくらう！

わたしたちNPO法人福祉住環境地域センターでは、9年間に渡り障害者アート作品の展示会を開催するなど、障害者理解へのきっかけとなる活動を続けています。



美術館イメージ

そして今回、豊橋市のシンボル山として有名な、石巻山にある元旅館を改装し、障がい者アート作品を常時展示する美術館をつくる計画をしています。

しかし、改装資金がまだまだ不足している状態です。

今回の美術館が実現できれば、東三河地域だけではなく他県からも足を運ぶ方が増え、東三河全体の活性化にも繋がるであろうと確信しております。



豊橋市のシンボル石巻山

ぜひ、地域活性化のためにもみなさんのご支援よろしくお願いいたします。

単に障がい者アートの展示場だけでは終わりません。
WACNET.がこの事業で目的としていることは、
＜障がい者アートで広がる新しい価値づくり＞です。

障がい者と障がいのない人が、同じ空間で自然と交流することができるコンテンツを提供することで、相互理解の解決のひとつにつながると考えています。

イメージ1. 障がい者アーティスト×地域アーティストのコラボ創作

地域で活躍されているアーティストさんや芸術大の学生等と共同創作プロジェクト。障がい者の感性とまた別の感性をMIXさせることで想像できないアート作品が誕生する予感。障がい者アートに興味のない人も興味を持つはずです。

イメージ2. 障がい児と一緒に遊ぶワークショップ

子どもの頃から障がいのある子どもと触れ合うことで、お互いの理解を図り成長できる機会をつくれます。

障がい者アートに興味がない方にも注目してもらえるコンテンツづくりに注力します！

イメージ3. 「筆談喫茶 | サイレントスペース |」

耳や言葉の不自由な方がスタッフとなり運営する喫茶店を美術館に併設。一般的な喫茶店とは違う声飛び交わない店内の雰囲気は、ほかではマネできない特別な空間をつくりだします。

